

## ■ツリツクス独自の保険システム「FF System」

### （FFシステムとは）

Flexible & Forward System の略で、文字通り、保険システムとしての自在性（業務の変化に対する柔軟性、ボリューム拡大に伴う発展性）と先進性に富む、当社が独自開発の保険事務システムです。

### （FFシステムの特徴）

大手損保会社で40年に亘り、あらゆるシステムを手掛け、損保システムの開発を先導して来た技術者が、その経験と反省とに立って、長年温めて来た考え方に基づき、SE（システム専門家）の人数を限定して開発費と維持費とを最小限に抑えるシステムとして実現させたものです。

### 従来の保険システムの問題点

- システムは高度だから専門家に任せるべきもの …これまで、保険商品開発や保険事務設計の担当者は、システム作りに出しが出来ず、システム・エンジニア(SE)に100%任せざる可ありませんでした。
- そのため、様々なニーズと共に増え続けるシステム要望に対処するには、社員SEの数を、右肩上がりに増やし続けなければなりませんでした。
- 更に、社員SEだけでは追いつかず、コストの高い社外SE(ソフthouse)も常時使うようになり、システムの開発・維持コストは益々膨大なものになって行きました。

### FFシステムによる解決

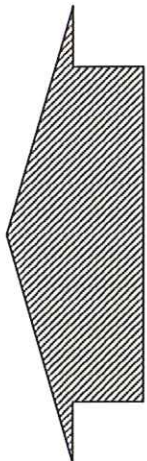
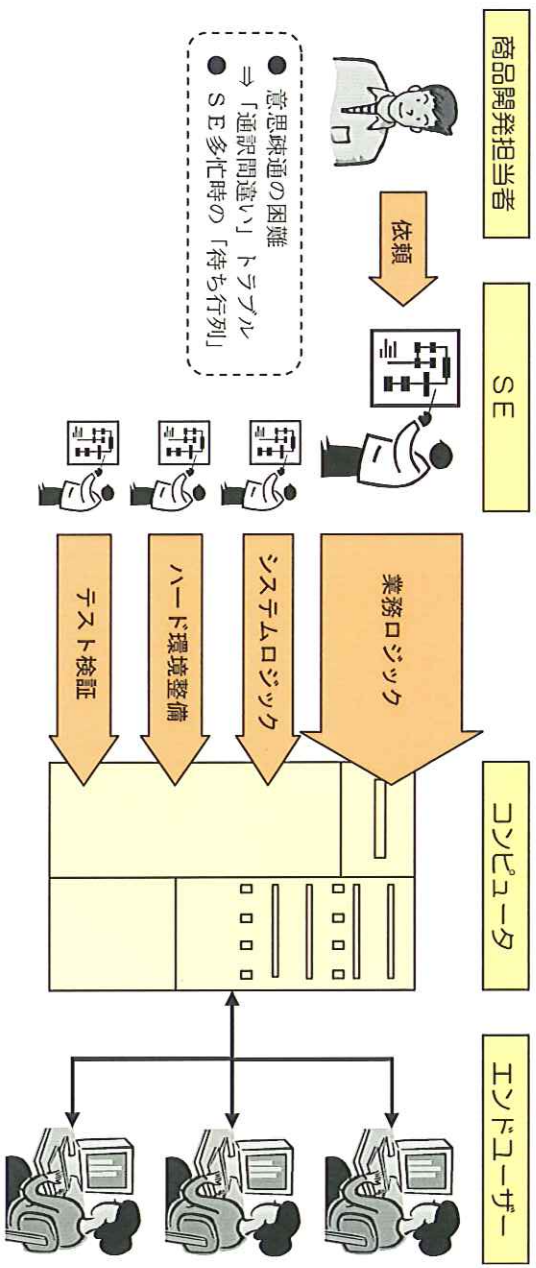
- その概要は、SEへの依頼部門担当者は、SEに依頼するのではなくて、自ら設計した商品や事務の業務内容を直接コンピューターに指示出来るようにしました。これにより、業務内容に関するコンピューターへの「通訳」としてのSEは不要になります
- SEは、業務ロジック部は彼等に任せ、コンピューター・システムとして正しく稼動する他の全ての条件（ハード環境準備、情報処理のフロー制御、テスト検証支援など）を整えることが中心的役割となります
- この方法で、SEの数は極めて限定的となり、低コスト運営が可能になると同時に、SEが仕掛かり中のエラーがあると、依頼ターマが待ち行列となっていた、もう一つの問題も解決します
- 但し、「通訳」が不要になる反面、業務設計の担当者は、エクセルの一般的関数が使えることが前提となります。SE相手に伝えた業務内容を、今度は、エクセルでコンピューターに直接伝えることとなります。

### （FFシステムの価値）

保険システム構築のあり方を根本から変革する画期的システムであり、大きなコスト削減効果が見込まれるため、同業他社より少なくとも2～3億円を下らない価値が認められています。

(従来の保険システムと「FFシステム」との違い)

### 従来の保険システム



### 「FFシステム」

